

Mizuho Bangkok Daily Market Report

Dated of 2025/07/15

Forex

	Close	CHANGE
USD/THB	32.47	0.03
JPY/THB	0.2198	-0.0002
USD/JPY	147.72	0.29
EUR/THB	37.88	-0.05
EUR/USD	1.1664	-0.0025
USD/CNH	7.172	0.001
SGD/THB	25.32	-0.03
AUD/THB	21.25	-0.08
USD/INR	85.99	0.19
USD Index	98.08	0.23

Bond

	Close	CHANGE
5Y (THB)	1.423	0.018
10Y (THB)	1.556	0.003
5Y (USD)	3.989	0.016
10Y (USD)	4.433	0.024

Commodity

	Close	CHANGE
GOLD	3,359.1	-4.9
WTI (Oil)	66.98	-1.47
Copper	9,619.0	-41.5

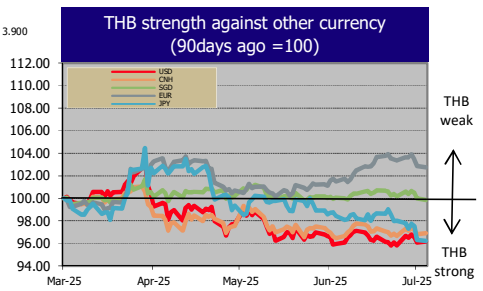
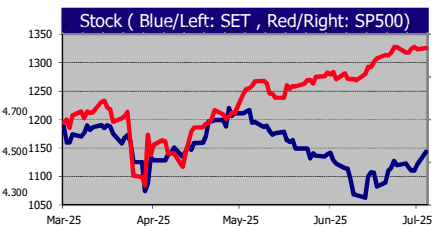
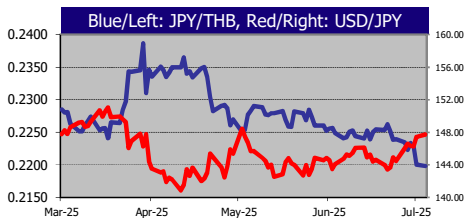
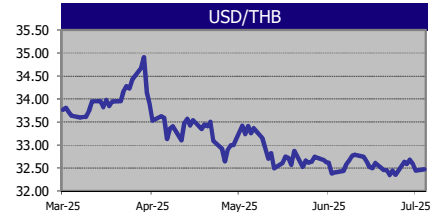
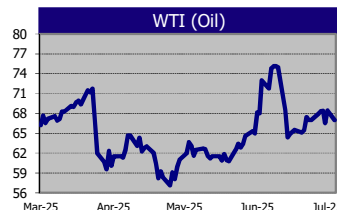
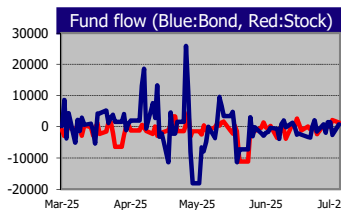
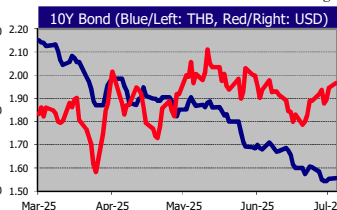
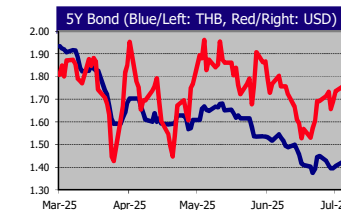
Stock

	Close	CHANGE
SET (TH)	1,143.31	22.18
NIKKEI (JP)	39,459.62	-110.06
DOW (US)	44,459.65	88.14
S&P500 (US)	6,268.56	8.81
SHCOMP (CN)	3,519.65	9.47
DAX(GER)	24,160.64	-94.67

Fund Flow (Overseas Investors)

	Close	CHANGE
Stock net flow	1,374	-813.3
Bond net flow	822	3385.3

*compared with previous day
(Source: Bloomberg)



Yesterday's market summary

●ドルパーツ

昨日14日のドルパーツは小動きとなった。アジア時間のドルパーツは32.40パーツ近辺で取引を開始。週末に米国がメキシコ・EUへ30%の関税を課すとしたことを受け、アジア通貨が売られる中でパーツも小緩みドルパーツは一時上昇したが、その後は金価格が上昇を受けパーツが買い戻され32.40近辺で海外時間へ。欧州時間入り際にドル買いの流れが強まるとドルパーツは再度上昇に転じたが、その後は翌日に米CPIの発表を控え動意薄く推移し32.40パーツ台でクローズした。

●ドル円その他

昨日のドル円は147円台前半レベルでオープン。前週、上昇した反動もあってか公示仲値決定のタイミングにかけて下落し147円を割り込んだ。下げ一巡後は147円台を回復、日銀が物価見通しの上方修正を検討とのヘッドラインに振られる場面もあったが、同水準での小動きとなり海外時間へ。米州時間、米株の堅調な値動きや、米金利の上昇を受け147円台後半まで上昇。その後は高値圏での推移が続き147円台後半でクローズした。

Bangkok Dealer's Eye

今週は米国で物価や消費動向、景況感などを測るうえで注目度の高い経済指標が多く発表される。なかでも、本日アジア時間夜の米6月消費者物価指数(CPI)は、今年後半のFRBの方向性を決定付ける可能性があり、結果を注視したい。今時点でコアCPIは前月比0.3%上昇と5か月ぶりの大きな伸びになることが予想されており、米国の企業が輸入品にかかる関税を販売価格に転嫁し始めたかどうか、物価上昇圧力が高まる兆しが見られるかなどが確認ポイントになろう。ここで米国のインフレ加速懸念が表面化すれば、現状年内2回程度の米利下げを織り込んでいる市場の見通しに大きな修正が入るかもしれない。ただし、トランプ大統領が上乗せ関税の発動期限を8月1日に先送りしたため、当初想定よりも米経済への影響や、インフレ圧力の高まる時期が後ズレしていること、そもそも上乗せ関税が本当に発動されるのかも含めて依然として不透明感があること等は留意しておきたい。昨日は、日銀が物価見通しの上方修正を検討する見込み、とのヘッドラインが出ており、円には買い材料も出始めてきた。今週末の参院選の結果が日銀の金融政策に影響を与えるとの見方もある。米国と各国の関税交渉の行方を追うことも必要だが、今週は米経済指標や日本の選挙結果等を眺め、今後の日米金融政策の見通しを改めて考えるタイミングとしたい。(吉田)

The report is prepared for the sole purpose of information only. It is not an invitation to trade. The writer's view expressed herein would not be substituted for the exercise of rational judgement by the recipients.